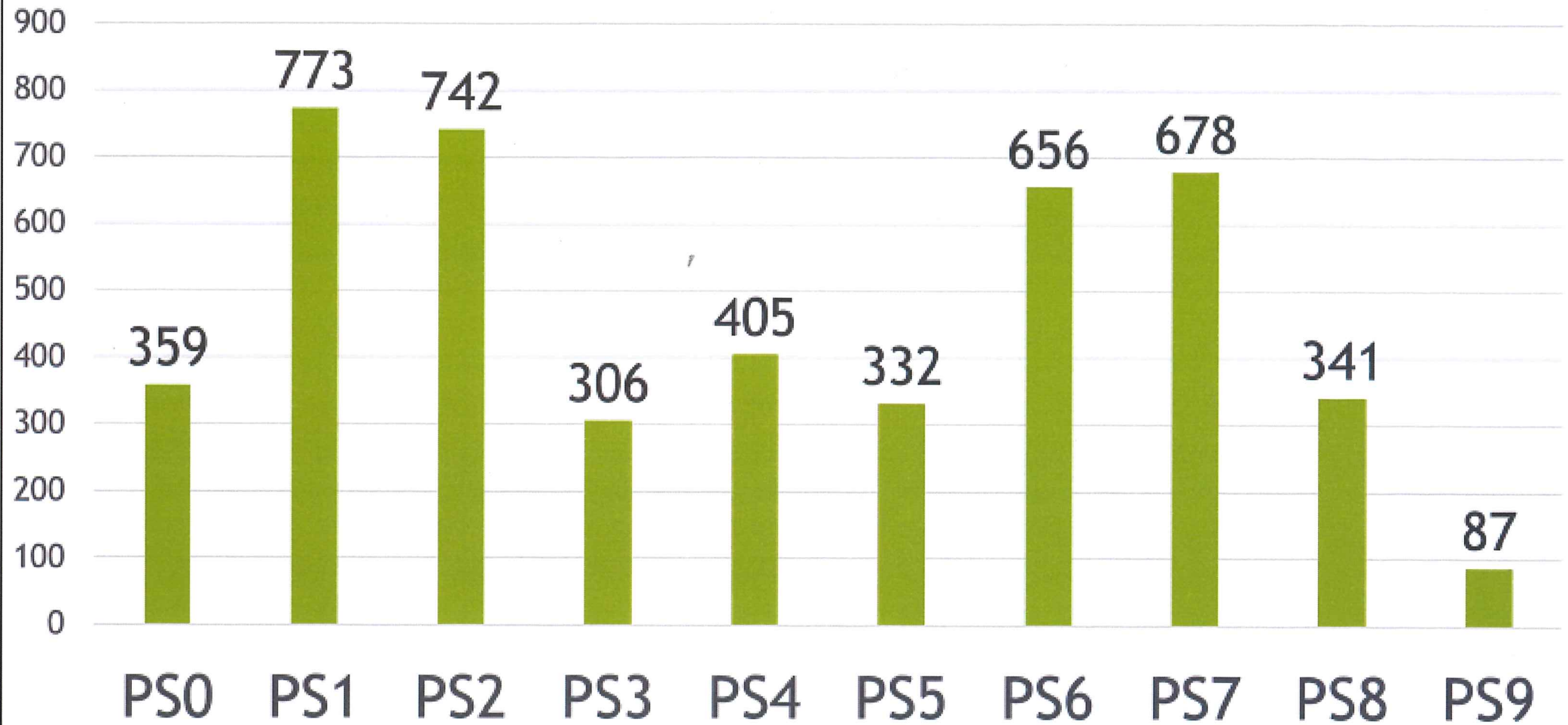


## PS(performance status)

- 0: 倦怠感がなく平常の生活ができ、制限を受けることなく行動できる。
- 1: 通常 of 社会生活ができ、労働も可能であるが、倦怠感を感じるときがしばしばある。
- 2: 通常 of 社会生活ができ、労働も可能であるが、全身倦怠の為、しばしば休息が必要である。
- 3: 全身倦怠の為、月に数日は社会生活や労働ができず、自宅にて休息が必要である。
- 4: 全身倦怠の為、週に数日は社会生活や労働ができず、自宅にて休息が必要である。
- 5: 通常 of 社会生活や労働は困難である。軽作業は可能であるが、週のうち数日は自宅にて休息が必要である。
- 6: 調子のよい日は軽作業は可能であるが、週のうち50%以上は自宅にて休息している。
- 7: 身の回りのことはでき、介助も不要ではあるが、通常 of 社会生活や軽作業は不可能である。
- 8: 身の回りのある程度のことはできるが、しばしば介助がいり、日中の50%以上は就床している。
- 9: 身の回りのことはできず、常に介助がいり、終日就床を必要としている。

データ期間：2020/11/21～2022/9/11

## 最重症時PS値分布



データ期間：2020/11/21～2022/9/11

## 労働への影響

| 株     | 労働者数 | 労働影響率 | 時短・在宅など | 通常時の半分未満休み | 通常時の半分以上休み | 休職   | 解雇・退職・廃業 |
|-------|------|-------|---------|------------|------------|------|----------|
| オミクロン | 523  | 73.6  | 33      | 22         | 16         | 286  | 28       |
| 以前    | 1996 | 66.9  | 179     | 94         | 96         | 795  | 172      |
| 全体    | 2781 | 68.5  | 231     | 128        | 122        | 1209 | 214      |

▶ 労働に影響した人数：1904人

▶ 労働者の68.5%に労働への影響が見られた



データ期間：2020/11/21～2022/9/11

## PS6になる率

| 株     | 総人数  | PS6以上<br>人数 | PS6<br>以上率 | 60日以内率<br>(%) | 60日以降率<br>(%) |
|-------|------|-------------|------------|---------------|---------------|
| オミクロン | 509  | 223         | 43.8       | 91.0          | 9.0           |
| 以前    | 1587 | 594         | 37.4       | 85.9          | 14.1          |
| 全体    | 2096 | 817         | 39.0       | 87.3          | 12.7          |

この集計は、患者さんに日誌を付けていただいたわけではなく、受診されたときの問診データを用いています。  
(発症から1年後に受診された場合は、たとえ発症直後にPS6になっていても、365日とカウントされてしまう)  
そこで、対象を発症から60日以内に受診している患者さんに限定しています。